※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１４

令和８年度　工業科（都市住宅系　アーキテクト専科）

教科	工業	科目	(学)インテリア概論	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	配布プリントおよび資料						
副教材等	建築計画						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インテリアとは、建物の内部空間を意味し、広くとらえると内部を構成する壁紙、床材、家具、カーテン、照明器具など、室内を装飾する室内装飾品をさします。また、建築物の外観をエクステリア、正面部分やデザイン性を強調する場合はファサードと呼ばれ、これらの組み合わせや機能、構造、デザイン、そして立地条件によって建築物の表現は多岐にわたります。この授業では建築物の歴史的背景や構成要素、色彩、照明などの知識を学びます。

2　学習の到達目標

・建築物の歴史的背景や構成要素、色彩、照明に関する基礎的な知識と技術を習得します。
・インテリア概論を通して、これから求められる建築物のありかたやニーズを理解し、これからの技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
・必要な知識や技術を自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築物の歴史的背景や構成要素、色彩、照明に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、実際の社会での建築物の意義や役割を理解している。また、身につけた知識と技術を適切に活用する。	建築物の歴史的背景や構成要素、色彩、照明についての理解をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	建築物の内部空間や外観に興味・関心を持ち、さらに組み合わせによる変化およびニーズへの対応の重要性を理解している。また、主体的かつ協働的に取り組もとするとともに、実践的な態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	インテリアの概要・知識	・人間工学の基本 モジュール 人の寸法 物の寸法 ・色彩 色の表示 色彩心理 色彩調和	a:人間工学および色彩に関する基礎的・基本的な知識を理解している。 b: 人間工学および色彩に関する基礎的・基本的な知識を的確に表現することができる。 c: 人間工学および色彩に興味を持ち、主体的かつ協働的に理解しようと取り組んでいる。	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 提出ﾉｰﾄ
				質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 提出ﾉｰﾄ
二学期	インテリアの知識・日本建築	・照明 照明の種類 光源の種類 光の演色性 ・日本建築	a:照明および日本建築に関する基礎的・基本的な知識を理解している。 b: 照明および日本建築に関する基礎的・基本的な知識を的確に表現することができる。 c: 照明および日本建築に興味を持ち、主体的かつ協働的に理解しようと取り組んでいる。	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 提出ﾉｰﾄ
				質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 提出ﾉｰﾄ
三学期	建築の移り変わり	・西洋建築 ・近代建築 ・現代建築	a:世界の建築に関する基礎的・基本的な知識を理解している。 b: 世界の建築に関する基礎的・基本的な知識を的確に表現することができる。 c: 世界の建築に興味を持ち、主体的かつ協働的に理解しようと取り組んでいる。	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 定期考査 確認ﾃｽﾄ	質問・観察 提出ﾉｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度